

平成 29 年度札幌市病院事業会計補正予算の概要について

1 経営健全化に向けた現在までの取組

(1) 地域医療支援病院としての役割強化のための取組 (収益増加)

- ・ 三次救急以外の患者の受入拡大
- ・ 医療機関への訪問活動の強化
- ・ 在宅医療を担う医療機関との連携強化

(2) 費用削減のための主な取組

- ・ 医療材料の共同購入の推進や同種同等品の見直し、整理
- ・ ジェネリック医薬品への切替推進
- ・ 委託費の抑制
- ・ 時間外勤務削減の取組
- ・ 医療機器の保守費用について、保険移行の拡大

(3) 効率的な運営体制構築のための取組

- ・ 病床規模の適正化 (44 床 (1 病棟) を休止)
- ・ 診療科ごとのベッド枠の廃止及びベッドコントロールの強化

2 29 年度決算見込

29 年度は、上記 1 の取組の効果もあり、経常収支は 28 年度と比べ 5 億円程度の改善が見込まれているが、経常収支の黒字化を達成するまでには至っていない。

(収支状況)

単位：億円

項 目	27 年度 (決算)	28 年度 (決算)	29 年度 (見込)
経常収支	△13	△16	△11
年度末現預金	△ 4	△20	△31

3 今後の取組

平成 30 年度に策定する中期経営計画では、「市立札幌病院の役割の明確化」とその役割を適切に担うための「経営健全化」について、重点を置いた議論を予定。

(1) 市立札幌病院の役割の明確化

地域医療構想等を踏まえ、必要な地域医療を確保するため、市立札幌病院の役割の明確化を行う。

(2) 経営健全化

上記(1)の役割を適切に担っていくため、経常収支黒字化に向けて、経営コンサルタントを導入し、より詳細な現状分析や課題の抽出、改善策等の検討を行い、経営健全化に向けた取組の拡大・強化を図る。

4 29 年度補正予算について

次期中期経営計画を開始する平成 31 年度までに不足する運転資金について一般会計から長期借入を行う等の補正予算を計上した。

下記の収支見通しのとおり、平成 31 年度には年度末現預金が△47 億円となる見込み。

翌 4 月の収入で返済可能な 20 億円を超える分の 27 億円について、一般会計から長期借入を行うもの。

併せて、当初予算と決算見込みとの差が見込まれるため、入院収益 14 億円、材料費 2 億円の減額をする補正予算を計上した。

(収支見通し)

単位：億円

項 目	29 年度 (見込)	30 年度 (予算)	31 年度 (見通し)
経常収支	△11	△8	△6
年度末現預金	△31	△41	△47

平成29年度札幌市病院事業会計補正予算（第1号）の概要

(補正予算の概要)

運転資金が不足するため、一般会計から27億円を長期借入する。

当初予算と決算見込との差が見込まれるため、入院収益を減額し、併せて材料費も減額する。

また、業務の予定量のうち、入院患者数について当初予算から変更する。

(単位 千円)

補正項目		補正前の額	補正額	補正後予算	摘要
借入	長期借入金	0	2,700,000	2,700,000	運転資金のため

(単位 千円)

補正項目		補正前の額	補正額	補正後予算	摘要
収益	病院事業収益	24,806,000	△ 1,400,000	23,406,000	
	医業収益	21,538,961	△ 1,400,000	20,138,961	
	入院収益	14,587,731	△ 1,400,000	13,187,731	決算見込額に修正
費用	病院事業費用	24,146,000	△ 200,000	23,946,000	
	医業費用	23,359,829	△ 200,000	23,159,829	
	材料費	6,200,208	△ 200,000	6,000,208	決算見込額に修正
収支	収入支出差引残額	660,000	△ 1,200,000	△ 540,000	

(単位 人)

補正項目		補正前	変更量	補正後予定量	摘要
業務量	年間入院患者数	222,876	△ 26,035	196,841	決算見込数に修正
	1日平均入院患者数	611	△ 72	539	決算見込数に修正